

令和6年度 6 月 定例教育委員会会議録

令和6年6月25日(火)

山梨市教育委員会

令和6年度6月 定例教育委員会 議事録

令和6年6月25日(火)午前10時から、山梨市役所401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の署名
- 5 協議事項
- 6 報告事項
- 7 連絡事項
- 8 閉会

○出席者

教育長	嶋崎 修
教育長職務代理人	天野 有紀
教育委員	窪田 新治
教育委員	原 喜雄
教育委員	相沢 季里

○欠席者

教育委員	鈴木 徹
------	------

○事務局職員出席者

学校教育課 課長	磯村 賢一
学校教育担当 教育監	小串 吾郎
学校教育担当 指導主事	内藤 健
学校総務担当 リーダー	大畠 芽久美
学校総務担当(議事録作成者)	小田切 咲紀
学校教育担当 リーダー	前嶋 裕樹
学校管理担当 リーダー	高原 あゆみ
生涯学習課 課長	武井 学
生涯学習担当 リーダー	廣瀬 ひろみ

4 協議事項の内容

教育長職務代理

議事に入る。(1) 山梨市教育委員会自己点検・評価報告書について、事務局から説明をお願いする。

学校教育課課長・生涯学習課課長・学校総務担当シ

資料Ⅰに基づき説明

教育長職務代理

今の山梨市教育委員会自己点検・評価報告書について、なにか意見等があるか。

原委員

土曜塾で21回開催されたということだが、参加人数はどのくらいか。

学校教育課長

149人だった。

窪田委員

特別支援員の配置事業について、特別支援員は公募で募集しているのか。その応募状況はどうか。

学校教育課長

大体の方が継続されていて、毎年2～3人を補充というかたちで応募する。70歳までという年齢要件が新たに加えられたことにより、退職された方の補充等で募集した。

教育長職務代理

特別支援員は教員免許を持っていなくてもなれるか。

学校教育課長

教員免許がなくても特別支援員になれる。

原委員

社会教育委員は存在しているか。存在しているなら何か活動はしているか。

生涯学習課長

社会教育委員は存在していて、先日も会議を開催したところである。

原委員

提言や答申はどのようなことをテーマに話し合っているのか？

生涯学習課長

主には公民館活動についてである。

窪田委員

文化財保護事業の中の赤芝地区伝統的建造物群について、現状どうなっているのか。また、横溝正史館の利用状況がわかったら教えてもらいたい。

生涯学習課長

赤芝地区伝統的建造物群については申請できるよう作業を進めていたが、地元に対抗意見があるため、もう一度地元の話を聞くということで調整する。横溝正史館については、週2日開館し、ボランティアの方に対応してもらっている。

窪田委員

赤芝の件は市としては推進していきたいという方向か。

生涯学習課長

地元に対抗意見があるので時間をおいて再度話をしたい。

窪田委員

指定されることはとても名誉なことだとは思いますが、色々なことを考えたときに、現状山梨県では認定されているところが甲州市と早川町の2か所あるが、その現状はどうかという課題やいいところを確認した中で地元の人にも話をしないと、ただ認定ありきでいくと大変だと思う。全国で120数か所あり、観光で成功している例もあるが、指定されたからといって何の変化もないところがあるので色々な角度からしっかり考えて

もらいたい。

相沢委員

県立博物館との連携はあるのか。県立博物館の運営委員を務めているが、今から大きな展示等が企画されていて、山梨市もその企画にのれるようなものがある。そういう大きな展示会もチェックしてその企画にのったりしていけば観光につながることもあるかもしれない。

学校教育課長

県の文化財指定を受けた市の文化財を貸し出したりもしているので、そういう意味では連携があると言える。

原委員

スポーツ推進事業の中で市民体育館修繕の長期的な計画はあるのか？

生涯学習課長

来年度大規模改修ということで今設計の段階である。またどういう計画かということをお示ししたい。

—議長交代—

教育長

(2)学校訪問を終えて(振り返り)について、事務局から説明をお願いします。

学校総務担当 L

資料2 に基づき説明

原委員

昨年度から今年度は訪問の時期を10月から5月に変更したが、年度始めて大変かもしれないが早期に学校の様子を知ることができて本当によかった。昨年度よりさらに意図的な授業参観を各学校で計画してくれたのでとても短時間だが効果的に授業を見ることができた。時間的に難しいかもしれないが、校長がうちはこれが売りだという各学校の特色を生かした授業や施設があれば見せてもらえるといいなと思っ

た。GIGA 端末を使用しての授業は同じような授業になってしまうところがあると思うので、GIGA 端末を使用しての授業が浸透してきたら、違った趣の授業を考えてもらってもいいのかなと思った。

教育長

訪問の時期について原委員はどう思うか。

原委員

学級経営が困難なクラスを見ることができて、未然防止という意味でも5月ごろがいい時期だと思う。

窪田委員

学校訪問で心配だなという先生方がいたが、その先生方がどうなっているかももう少し後で教えてもらいたい。

相沢委員

特別支援についてはとても手厚いと感じた。CS についても地域の連携が進んでいると感じた。県立高校ではワイワイガガヤの授業を見ることが多いが、今回は一斉授業が多かった。いずれにしても生徒が深く考えていればいいわけで、そういう授業がしっかりなされていていいと思った。人事についても適正な配置がされている。管理職と教職員がしっかりコミュニケーションをとれているのかなと感じた学校もあったが、そこがしっかりしていないと信頼感が生まれず、子どもたちが信頼できないと教育がしっかり入っていかないので、そこは人事配置や研修などでカバーしていけるといいなと思った。英語については学習指導要領で4技能だったが今は5技能となった。その5技能目はやりとりで話すということ。今まで聞いてきたような簡単な表現でやり取りをしながら自分の考えを伝えることができる。英語で理解しながら英語で主体的にコミュニケーションをはかろうとする態度を育むということ。小学校ではかなり英語のコミュニケーションをとるようにしていると聞いたが、中学校になるとかなりトーンダウンしてしまい残念に思った。対策としてはクラスルームイングリッシュ等から最初は入っていくのがいいと思う。これからは英語がツールとして使われていくので、発音どうこうというより内容が伝わればいい。高校入試も最後の作文の問題でも多少スペルが違っていても内容が理解できていればいいということまでできているのでそういう英語教育を目指していくといいと思う。授業参観について、生徒の

様子を見るのに体育や美術の生徒の様子をみると本当の姿が見れることもあるので、時間的に難しいかもしれないが、そういう授業を参観に組み入れるのもいいと思う。

天野委員

日下部小のスタートカリキュラムについて、複数クラスがあるような学校で手のかかる子が偏ってしまったりしてそういうクラスに新採の先生がついてしまい問題が起きているようなケースをみると、そのスタートカリキュラムによってばらつきや支援の大変さが減っていくといいなと思った。特別支援の関りについて、支援員がたくさん入って充実しているようには感じるが、中にはもう少し寄り添った関りができるといいのではと思った学校があった。定期的な研修や何か学べるようなしくみがあるといいのでは。不登校や特別な関りが必要な子の対応について、まだまだ学校の中だけで解決しようとしている学校があると感じた。外部ともより積極的に関わりながらスピーディーに解決がなされていけばいいと思った。

原委員

学校要覧の中で「不応児」という言葉をつかっている学校があったが、多様性を認める時代に「不応」という言葉の使用は気を付けた方がいいのではないかな。

教育長

次回の校長会でその点についてふれたいと思う。

ほかに意見等あるか？

教育委員

なし

教育長

次に(3)その他、何かあるか。

教育委員

なし

教育長

参考で意見を聞かせてもらいたい。プールの授業について、11 校中8校が外部のプールで行い3校が自校で行うが、外部プールを使用すると、今まで年間で12時間水泳の授業を確保してきたが、その時間の確保が難しい。校長会からの要望でも水泳の授業時間の確保についてあげられたが、文科省の学習指導要領では水泳の授業回数を「適切な回数」とされていて、しなくてもいいが水の安全指導は行うとなっている。水泳の授業時間を確保するため開始時期を少し早めることもするが、自校が基準とする時間の確保は難しく、授業時間を少し減らさなければならなくなってしまふと思われる。このことについて、何か意見があるか。

原委員

目標をどこにおくか？水に親しむということと、何泳ぎでもいいから浮いて泳げるようになってもらえれば時間はこだわらなくてもいいのではないか。目標を、6年間を通じて達成すればいいと思う。

教育長

シュミレーションすると、自校で10～12回行っていたのが、8～10回位になると思われるがそれでよろしいか。

原委員

学校訪問時に、プールへの移動する時間や移動時の人の配置が課題として学校からあげられたが、それについてどう調整していくかということがでてくる。

教育長

また経緯を報告する。

ほかに何かあるか。

教育委員・事務局

なし。

5 報告事項

(1) 6月議会答弁について

学校教育課長 説明

教育長

何か質問等あるか。

教育委員

なし

(2) 山梨市青少年県外交流事業について

生涯学習課長 説明

教育長

課題は山梨市内に宿泊場所がないということでハケ岳の方に宿をとっている。

窪田委員

三富の民宿等は無理なのか。

教育長

全部で80人くらいが一度に宿泊できるような宿泊場所が必要である。

他に質問等あるか。

教育委員

なし

(3) その他

学習系ネットワークの SINET 接続について

学校管理担当 L 説明

教育長

何か質問等あるか？

教育委員

なし

教育長

以上で議事を終了する。